

木曾谷南部の花崗岩地形と木曾五木

南木曾岳 生物群集保護林

設定目的

中央アルプスの南西部に位置する南木曾岳（二、六七七㍎）の山頂部周辺には、深層風化花崗岩からなる急峻な山岳地形に木曾ヒノキをはじめとする木曾五木の天然林が生育しています。

この木曾谷南部の典型的な生物群集を有する森林の保護・管理を一体的に行っています。

地況・林況

当保護林は、木曾川左岸にあたる南木曾岳の南々北西斜面に位置しています。風化した花崗岩地質により、山頂付近は急傾斜で巨岩が突き出た山岳地形が見られます。

木曾ヒノキを中心にサワラ、アスナロ、コウヤマキ、クロベの木曾五木が生育し、林床にはキョウマルシヤクナゲ等が生育しています。また、北西斜面の一部には木曾谷としては希少なブナを中心とする落葉広葉樹林が見られます。

所在地
長野県 木曾郡 南木曾町



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。